



ひがまつテラスでミニ展示 「やなせたかしと大橋正」を開催！

本展示は松戸教育委員会文化財保存活用課美術館準備室所蔵の資料・書籍から、やなせたかしの東京高等工芸学校（以下高等工芸）在学時、漫画家としての仕事、そしてやなせの高等工芸の先輩であったデザイナー大橋正の作品を展示し、松戸とやなせ、大橋の関係をご紹介します。

●概要

漫画家、詩人など様々なジャンルで活躍をしたやなせたかし（1919-2013年）は、1937年に東京高等工芸学校（以下高等工芸）工芸図案科に入学しました。高等工芸はデザイナー育成のための国立学校で、設立当初は東京市芝区（現東京都港区、JR田町駅付近）にありましたが、東京大空襲によって校舎が全焼。戦後、松戸市岩瀬に移転したゆかりから、松戸市ではこの学校の資料や関係者の作品等を収集、公開して参りました。

●**展示期間** 令和7年8月19日（火）～31日（日）
9時30分から19時まで（土曜、日曜、祝休日は17時まで）

●**展示場所** ひがまつテラス 東松戸地域館（図書館）
（松戸市東松戸2丁目14-1 1階）

●**観覧料** 無料

●**展示内容**（パネル展示＋書籍等5点＋ポスター1点）

① 学生時代のやなせたかし

やなせが在学していた当時の高等工芸について、所蔵資料を写真パネルで紹介いたします。やなせの著作によると、高等工芸での学生生活は充実しており、後のやなせの創作活動に大きな影響を与えたとされます。

② 卒業後の仕事

やなせは高等工芸卒業後、従軍を経て高知新聞や日本橋三越に勤務し、後にフリーランスの漫画家となります。ここでは三越勤務時代や、漫画家として出発した初期の書籍等を展示します。

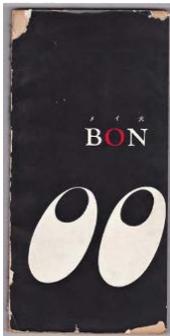


③ 図案科の先輩、大橋正 おおはしただし

大橋正はやなせの高等工芸 工芸図案科の三学年先輩で、フリーランスのグラフィックデザイナーとして戦後の明治製菓やキッコーマンの宣伝広告を手掛けました。やなせも印象深い同窓として大橋の名前を挙げています。ここでは大橋の手掛けたポスター1点を展示します。

また、やなせは2002年に松戸市立博物館で開催された「大橋正展」の講演に登壇し、大橋の思い出について語っています。

●参考：出品作品（一部） ※画像使用希望の際は必ずお問い合わせください。



やなせたかし『名犬 BON』1959年 【実物展示】

セリフなしの四コマ漫画集。フリーの漫画家となったやなせの初期の作品で、やなせの愛犬「ボン」が主人公となり、ユーモラスなストーリーで読者の笑いを誘う。



やなせたかし『ふしぎな絵本 十二の真珠』

株式会社山梨シルクセンター、1970年 【実物展示】

1969年より雑誌『PHP』に連載していた12編をまとめた単行本。6話目には初期のアンパンマンが登場。アンパンマンは現在の姿とは異なって人間に近い姿をしており、最後は未確認飛行物体として射撃されてしまう。



大橋正《明治ミルクチョコレート》ポスター
1952年【実物展示】



松戸市立博物館で開催された大橋正展の講演会に登壇するやなせたかし。
【パネル展示】（撮影：松戸市）

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0065 千葉県松戸市南花島4-63-5

松戸市生涯学習部文化財保存活用課

☎047-365-0858 FAX047-384-8194

✉ mcbunkazai@city.matsudo.chiba.jp